

市内小中学生が夏休み交通安全宣言書を提出

◎生活安心課 ☎36・7144

7月19日、市内の全18小学校の児童が夏休み中の交通安全を誓い、市長・警察署長・交通安全協会支部長へ宣言書を提出しました。

この日は、代表の児童3人がそれぞれ「歩行者に気をつけて、自転車を安全に運転する」「左右をしっかり確認する」などと誓いました。染谷市長は「『もしかして』をいつも気を付けて、楽しい夏休みを過ごしてほしい」とあいさつしました。



児童代表の(左から)石切山さん、茨木さん、山村さん

第1回「移動市長室」を開催し市民と意見交換

◎秘書課 ☎36・7117

7月24日、保健福祉センターはなみずきで、第1回「移動市長室」を開催しました。市長が地域に向き、市民と意見を交わすことで、今後の市政に反映させ、市民とともにまちづくりを推進していきます。

今回は、市健康づくり食生活推進協議会の皆さんと、食育や共食、防災、食品ロスなど、食に関する活発な意見交換を行いました。染谷市長は「食推協は食事のおいしさだけでなく、愛情を伝えていくことが大事な使命。これからも、ぜひ頑張ってください」と激励しました。



食推協の皆さんと意見交換

市民ワークショップ「しまだ未来カフェ」を開催

◎地域づくり課 ☎36・7197

◎協働推進課 ☎36・7402

まちづくりへの関心を高めてもらうきっかけづくりとして、7月1日にプラザおおるりで「しまだ未来カフェ」が開かれました。

市は、高校生74歳の市民から無作為に抽出した3000人へ、案内状を送付。当日は応募者など32人が参加しました。「子育てしやすい街ってどんなまち？」をテーマに、グループごとに意見交換し、最後の発表では「家族ぐるみの関係性を強めるイベント」や「子どもたちだけで遊べ



各グループで考えた企画などを発表

豪雨被災地を救済物資搬送や職員派遣で支援

◎危機管理課 ☎36・7143

市は、西日本豪雨で被害を受けた岡山県倉敷市に、食料や飲料水などの救済物資を届けました。7月7日夜に積み込みを行い、危機管理課職員2人がトラックで出発。翌日、被災地へ物資を届けました。

また、広島県呉市に設置されている県現地支援本部の活動をサポートする派遣チームに、建設課の福島陽生技師が派遣されました。福島技師は7月15～21日の期間、現地で罹災証明書の発行や現地調査業務を担

当。技術職のスキルを生かして、被災地支援に当たりました。



物資の積み込みを行う危機管理課職員